

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人  
田原市社会福祉協議会

## 目次(決算額一覧表)

事業名	頁	支出決算額(単位:円)		比較増減	
		令和4年度	令和3年度		
<b>◎法人運営</b>					
1	法人運営事業	1	65,771,632	60,596,597	5,175,035
2	結婚相談事業	5	5,919,000	5,954,918	△35,918
3	共同募金配分金事業	6	4,697,688	3,100,184	1,597,504
<b>◎地域福祉活動</b>					
4	ボランティアセンター運営事業	8	6,225,678	6,099,156	126,522
5	生活ささえあいネット事業	10	8,020,284	8,138,900	△118,616
6	地域福祉ネットワーク事業	12	7,700,916	8,334,650	△633,734
7	生活支援体制整備事業	15	12,178,171	9,992,408	2,185,763
<b>◎福祉サービス利用支援</b>					
8	成年後見センター事業	17	14,212,000	13,564,820	647,180
9	日常生活自立支援事業	18	740,765	792,281	△51,516
10	資金貸付事業	19	1,051,673	2,762,579	△1,710,906
11	心配ごと相談事業	20	1,883,500	1,863,000	20,500
12	障害児相談支援事業	20	0	0	0
13	一般相談支援事業	21	0	0	0
14	特定相談支援事業	22	16,161,540	13,840,669	2,320,871
15	高齢者支援(地域包括支援)センター事業	24	41,230,903	36,117,460	5,113,443
16	生活困窮者自立相談支援事業	28	21,123,993	18,014,000	3,109,993
17	生活困窮者等就労準備支援事業	29	4,202,038	3,292,669	909,369
18	障害福祉サービス事業	29	9,553,964	10,042,937	△488,973
19	就労移行支援事業	30	19,783,239	22,114,719	△2,331,480
20	移動支援事業	31	4,725,700	4,180,903	544,797
21	生活介護事業	31	36,689,210	35,813,388	875,822
22	日中一時支援事業	32	3,982,636	4,269,687	△287,051
<b>◎在宅福祉サービス(介護保険事業等)</b>					
23	居宅介護支援事業	32	60,374,312	64,527,857	△4,153,545
24	訪問介護事業	33	31,912,276	32,080,313	△168,037
25	福祉車両運行サービス事業	34	1,921,066	1,399,715	521,351
26	配食サービス事業	35	5,325,652	5,607,168	△281,516
27	高齢者介護予防事業	35	1,637,372	1,577,546	59,826
<b>◎施設・指定管理</b>					
28	田原福祉センター管理運営事業	36	37,155,080	32,936,656	4,218,424
	赤羽根福祉センター管理運営事業	36	18,871,000	14,067,003	4,803,997
事業報告の附属明細書について		37	-	-	-
合計			443,051,288	421,082,183	21,969,105

本会は、田原市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的として、次の事業を実施しました。

## ◎法人運営

### 1 法人運営事業

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
65,771,632円	60,596,597円	5,175,035円

#### [目的]

社会福祉法第109条に規定する市町村社会福祉協議会として、田原市社会福祉協議会の事業全体の管理、組織運営を適正に行います。

#### [主な事業内容・実績]

市派遣職員2人、正規・再雇用職員38人、嘱託職員9人、臨時職員36人の計85人（令和5年3月31日現在）により、田原市社会福祉協議会の全事業を実施しました。

- 理事会、評議員会等の開催
- 啓発及び広報活動 広報紙「社協だより」は奇数月発行（年6回）
- 法人運営全般に係る財務・人事管理、経理業務
- 職員研修（キャリアパス研修等）の実施
- 福祉関係団体の活動支援
- 基盤強化計画の推進
- 法人運営に係る企画及び実施
- 福祉バスの実施
- 高齢者世話付住宅への生活援助員派遣
- 社会福祉基金及びボランティア基金の適正管理

決算額は前年度と比較して、職員配置の変更に伴う人件費の増額、車両の購入等により増額となりました。

#### (1) 理事会、評議員会等の開催

次のとおり理事会・評議員会等を開催しました。

##### ア 理事会

(ア) 第1回理事会 令和4年4月1日 於田原福祉センター  
議事

第1号議案 常務理事の選定について

(イ) 第2回理事会 令和4年6月10日 於田原福祉センター  
議事

第2号議案 評議員候補者の選出について

第3号議案 理事候補者の選出について

第4号議案 職員の育児介護休業等に関する規程の制定について

第5号議案 職員就業に関する規則の一部改正について

第6号議案 職員の年次有給休暇等に関する規程の一部改正について

- 第7号議案 嘱託職員の雇用に関する規程の一部改正について
- 第8号議案 臨時職員就業に関する規則の一部改正について
- 第9号議案 令和3年度事業報告について
- 第10号議案 令和3年度決算について
- 第11号議案 令和4年度定時評議員会（第1回評議員会）の招集について

(ウ) 第3回理事会 令和4年8月9日 ※書面審議  
議事

- 第12号議案 理事候補者の選出について
- 第13号議案 評議員会への提案について

(エ) 第4回理事会 令和4年8月31日 ※書面審議  
議事

- 第14号議案 職員の給与に関する規程の一部改正について
- 第15号議案 嘱託職員の雇用に関する規程の一部改正について
- 第16号議案 臨時職員就業に関する規則の一部改正について

(オ) 第5回理事会 令和4年12月12日 於田原福祉センター  
議事

- 第17号議案 評議員候補者の選出について
- 第18号議案 理事候補者の選出について
- 第19号議案 第三者委員の選任について
- 第20号議案 職員の給与に関する規程の一部改正について
- 第21号議案 臨時職員就業に関する規則の一部について
- 第22号議案 令和4年度補正予算（第1号）について
- 第23号議案 令和4年度第3回評議員会の招集について

(カ) 第6回理事会 令和5年1月13日 ※書面審議  
議事

- 第24号議案 副会長の選定について

(キ) 第7回理事会 令和5年3月15日 於田原福祉センター  
議事

- 第25号議案 令和4年度補正予算（第2号）について
- 第26号議案 令和5年度事業計画について
- 第27号議案 令和5年度予算について
- 第28号議案 令和4年度第4回評議員会の招集について
- 第29号議案 役員等賠償責任保険の加入について

イ 評議員会

(ア) 令和4年度定時評議員会（第1回評議員会）令和4年6月27日  
於田原福祉センター  
議事

- 第1～2号議案 理事の選任について
- 第3号議案 令和3年度事業報告について
- 第4号議案 令和3年度決算について

- (イ) 第2回評議員会 令和4年8月26日 ※書面審議  
議事  
第5号議案 理事の選任について
- (ウ) 第3回評議員会 令和4年12月21日 於田原福祉センター  
議事  
第6号議案 理事の選任について  
第7号議案 令和4年度補正予算(第1号)について
- (エ) 第4回評議員会 令和5年3月27日 於田原福祉センター  
議事  
第8号議案 令和4年度補正予算(第2号)について  
第9号議案 令和5年度事業計画について  
第10号議案 令和5年度予算について

ウ 監査会

- 第1回監査会 令和4年5月31日 於田原福祉センター  
監査事項  
(ア) 令和3年度事業報告について  
(イ) 令和3年度決算について

(2) 啓発及び広報活動

広報紙「社協だより」の発行(年6回・奇数月)を校区コミュニティ協議会及び地区自治会の協力を得て配布し、福祉事業の周知啓発と社協事業のPRを行いました。また、ホームページの情報掲示板を活用し、福祉イベントや各地域でのイベント開催案内等の情報を発信しました。

(3) 会員募集

社会福祉協議会の事業について各方面でご理解をいただけるようPRをしながら会員募集を行いました。また、校区コミュニティ協議会や地区自治会に特別会員としてのご協力をいただきました。

ア 募集実績

会員種別	令和4年度	令和3年度
一般会員 (個人 1口1,000円以上)	751件 (866,000円)	769件 (876,870円)
特別会員 (法人、自治会、団体 1口2,000円以上)	225件 (2,187,823円)	201件 (2,166,803円)
合計	976件 (3,053,823円)	970件 (3,043,673円)

## イ 会費使途

区分	内容	金額 (円)	割合 (%)
法人運営事業	社協だより（年6回発行）発行費	1,043,280	43.8
	福祉バス（29人乗、1台）運行費	1,042,800	43.8
地域福祉ネットワーク事業	サロン活動（10グループ）助成	295,000	12.4
合計		2,381,080	100

### (4) 福祉のつどい等福祉啓発事業（共同募金配分金を活用）

令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小し式典・顕彰のみ開催をしてきましたが、令和4年度は、三河田原駅付近の福祉・子育てエリアを身近に感じていただくため、田原福祉センターをメイン会場とし、ララグラン（すくっと）と田原文化会館の3会場で開催をしました。

田原福祉センターでは、式典において地域福祉に功績のあった個人・団体を顕彰し、また、ボランティア団体等による活動紹介や体験教室、パネル・働く車の展示、健康チェック、スタンプラリー等も同時に行いました。また、フードドライブ（食品寄付受付）を行い、多くの方々から食品等をご寄付いただきました。

ララグランでは、キッチンカーや、ボランティア団体等の活動紹介、制作物の販売等が行われ、田原文化会館文化ホールでは、ヤクルト本社中央研究所の河合光久氏による地域包括ケアを考える講演会（福祉のつどい共同開催）を行い、小さなお子さんから高齢者まで多くの方にご来場いただくことができました。

### (5) 各種団体支援助成

各団体の自立的な活動を支援するとともに、事業費の助成を行いました。

#### ア 事務局支援

次の団体の事務局として、会議資料の作成、市補助金申請等の事務支援を行いました。

民生児童委員協議会、遺族連合会、身体障害者福祉協会、人権擁護委員会、保護司会、協力雇用主会、更生保護女性会、子ども会連絡協議会、老人クラブ連合会、手をつなぐ育成会、母子寡婦福祉会、ボランティア連絡協議会、あつみNPOネットワーク

#### イ 事業費支援

社会福祉増進の事業を行う団体に、補助金を交付しました。

団体名	補助金額（円）	
	令和4年度	令和3年度
田原市仏教会 （花まつり、慰霊祭等）	719,130	719,130
六連神社奉賛会（慰霊祭）	14,070	14,070
合計	733,200	733,200

## (6) シルバー見守り事業(市受託事業)

高齢者世話付住宅(久保川住宅)に生活援助員を派遣し、入居高齢者の生活相談等の業務を通じて自立的生活の指導・啓発とともに、積極的に外部の生きがいづくり活動の場への参加を促すことに努めました。

区分	令和4年度	令和3年度
年間訪問件数(件)	27	34
相談室延利用人数(人)	770	759

## (7) 福祉バス

地域のひとり暮らし高齢者のうち自動車の運転ができないことで買い物に困っている方を対象に実施してきた『買い物支援バス』は、高齢者サロン・障害者・コミュニティ関係者等の社会参加や視察研修など多様なニーズに活用する『福祉バス』として利用の幅を広げてきました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により大幅に減少していた利用者数は、令和4年度には、感染者数の減少や行動制限の緩和等により回復してきました。

区分		令和4年度		令和3年度	
利用目的		開催回数 (回)	延べ参加者 数(人)	開催回数 (回)	延べ参加者 数(人)
買い物 支援	大草	3	31	0	0
	野田	8	118	2	24
	伊良湖	2	35	0	0
	亀山	2	20	0	0
サロン活動		12	154	4	44
高齢者福祉活動		3	37	0	0
視察研修		1	14	2	24
行事・大会・イベント他		9	78	5	63
合計		39	487	13	155

## 2 結婚相談事業(市受託事業)

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
5,919,000円	5,954,918円	△35,918円

### [目的]

ふれあい相談センターを開設し、独身男女のふれあいの場等の提供を行い、婚姻率の改善に繋げ、少子化対策に寄与します。

### [主な事業内容・実績]

結婚を希望する方の相談対応やお見合い、結婚相談会、オンライン無料体験会、オンライン婚活パーティー、男性向け婚活セミナー、婚活パーティーの実施により出会いの場を提供しました。

○開設日 月曜日～日曜日 午前9時から午後5時まで (毎週水曜日、祝日、12月29日～翌年1月3日は休み)
○職員体制 相談員2名(嘱託職員)
○結婚等に関する相談対応
○婚活イベントの開催
○お見合いのコーディネート及び立会い

(1) 登録者数等の実績

区分	令和4年度	令和3年度
ふれあいカード登録者数(人)※	56	65
ふれあい相談センター 利用実績(件)	来客	186
	電話	157
	メール等	165
	計	508
ふれあいイベント延参加者数(人) (開催回数)	73 (5回)	60 (5回)
婚活セミナー延参加者数(人)	20	9
婚活セミナー開催回数(回)	1	1
お見合い件数(件)	3	2
成婚組数(組)	3	2

※ふれあいカード登録者数は、年度末数値で、登録期間は3年間で更新は可能です。

(2) 婚活イベント等の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Zoomを活用したオンライン体験会や婚活パーティーを開催しました。

また、婚活支援を行う事業所経営者を招き、独身男女やその家族を対象とした結婚相談会を開催しました。下半期は対面での男性向け婚活セミナーや婚活パーティーを開催することができました。

(3) お見合いのコーディネート

登録制度によるお見合い希望の男女が、プロフィールカードを閲覧後、お見合いの申し出を行い、双方の合意があった場合にお見合いの機会を提供しました。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いプロフィールカードの閲覧者が減少傾向にあったため、お見合い希望者もあまり増えませんでした。令和4年度は、3組のお見合いを実施し、1組が交際を始めています。

3 共同募金配分金事業

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
4,697,688円	3,100,184円	1,597,504円



[目的]

共同募金等の配分金を財源として、地域に暮らす人々が共に助け合い、安心して生活を送れるよう、様々な地域課題を解決するための活動を支援し、地域福祉の向上を図ります。

[主な事業内容・実績]

- 敬老訪問事業
  - ボランティア団体の活動支援
  - おもちゃ図書館の活動支援
  - 貸出し用車椅子の購入・整備
  - 生活困窮世帯支援のための車両の購入
  - 社会福祉活動協力校の活動支援 (※)
  - サロン活動の支援 (※)
  - 福祉のつどいの開催 (※)
- ※印の実績については、関連事業のページに記載してあります。

決算額は前年度と比較して、特別配分金の交付を受け軽車両1台を購入したため増額となりました。購入した軽車両は、主に生活困窮世帯支援のために活用しています。

多くの方々のご協力のもと、募金活動を実施し、共同募金運動の推進を図りました。(募金実施期間10月1日～12月31日)

区分	募金実績額(円)	
	令和4年度	令和3年度
街頭募金	9,292	12,272
イベント募金	56,589	3,416
学校募金	407,476	446,724
職域・戸別募金	1,130,531	1,171,194
法人募金	1,993,621	1,893,000
個人募金	197,175	164,338
その他	63,639	65,421
合計	3,858,323	3,756,365

愛知県共同募金会からの一般募金配分金(再配分金含む)と歳末たすけあい配分金で、次の事業を実施しました。

(1) 敬老訪問

田原市と共催で、満100歳以上の高齢者にお祝い品を9月21日に贈呈しました。

区分	令和4年度	令和3年度	記念品
満100歳以上(人)	60	56	ホームベスト

## (2) ボランティア団体等への活動支援

ボランティア団体等の自主的な活動を支援するとともに、各種事業の助成を行いました。

団体名	助成金額(円)	
	令和4年度	令和3年度
ボランティア連絡協議会	86,000	86,000
あつみNPOネットワーク	86,000	86,000
おもちゃ図書館	50,000	50,000
ボランティア団体（1団体） 豊橋みなみおやこ劇場	30,000	30,000
社会福祉活動協力校 小学校18校、中学校4校、高等学校3校	1,250,000	1,250,000
サロン（31団体）	440,500	219,000
合計	1,942,500	1,721,000

## ◎地域福祉活動

### 4 ボランティアセンター運営事業

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
6,225,678円	6,099,156円	126,522円

#### [目的]

地域の人たちが他者や地域に関心を持ち、できる時にできる事から、助け合い、分かちあえるボランティア活動に取り組めるよう支援します。

#### [主な事業内容・実績]

幅広い分野の各種ボランティア養成講座の開催、活躍の場を広げるための情報提供、ボランティアを行う人と必要とする人とのマッチングを行い、相互の交流や連携を図りました。

- 各種講座の開催
- ボランティアセンターの運営
- 防災ボランティアコーディネーターの養成

### (1) 講座開催

ボランティア活動参加への動機付けや技術の向上を図るため、各種ボランティア養成講座を開催しました。傾聴ボランティア講座は、コロナ禍の影響で介護施設などでの傾聴活動が行えず、実際に活動する場がない状態でした。そのため、代替としてアンガーマネジメント講座を開催し、ボランティアをする際の精神状態の管理についてのスキル向上を図りました。また、ボランティア紹介セミナーは福祉のつどいと合同開催し、例年より多くの方にボランティア団体の活動に触れていただくことができました。

内容	令和4年度		令和3年度	
	開催回数 (回)	参加人数 (人)	開催回数 (回)	参加人数 (人)
手話入門講座	8	7	6	7
レクリエーション講座	4	23	4	23
ズーム体験講座	未開催		4	14
要約筆記体験講座	1	2	中止	
点字入門講座	3	7	中止	
アングーマネジメント講座	1	17	未開催	
ボランティア紹介セミナー	1	300	中止	
合計	18	356	14	44

## (2) 広域的ボランティア事業

第30回東三河ボランティア集会は、「人生100年時代 笑顔で楽しい新たなボランティア活動を目指して前進」をテーマに蒲郡市で開催しました。福祉まつり、地域共生フォーラムと合同で開催され、約380名のボランティアの方々が参加しました。田原市からは24名のボランティアが参加し、他市のボランティアの方々と交流しました。

## (3) ボランティアセンターの運営

ボランティアセンター運営に必要な職員を配置し、ボランティア活動に関する相談・登録・紹介・情報提供等を行うとともに、ボランティア団体、個人の活動を支援しました。

### ア ボランティア登録状況 令和5年3月31日現在

区分	令和4年度	令和3年度
個人(人) ※	15	167
グループ(団体)	85 (3,156人)	79 (3,119人)

※令和4年度は、個人には生活ささえあいネット・サポーター数を含んでいません。

### イ ボランティア活動に関する相談受付

区分	令和4年度(件)	令和3年度(件)
依頼	5	3
紹介	17	12
連絡・調整	11	2
合計	33	17

#### ウ ボランティア活動保険への加入状況

区分	令和4年度	令和3年度
加入者数（人）	839	834

#### (4) 防災ボランティアコーディネーターの養成（市受託事業）

災害時において災害ボランティアセンターが立ち上がった際、被災者とボランティアの調整役（コーディネーター）が担える人材を育成することを目的に、養成事業（初級講座（2回）、レベルアップ講座（1回））を実施しました。

また、ボランティアコーディネーター同士のつながり、ネットワークづくりのため、情報交換会を開催しました。

開催日	内容	参加人数
7月24日	防災ボランティアコーディネーター養成講座 渥美会場：渥美文化会館	11人
7月31日	防災ボランティアコーディネーター養成講座 田原会場：田原福祉センター	10人
1月29日	防災ボランティアコーディネーターレベルアップ講座 会場：田原福祉センター	12人
2月25日	情防災ボランティアコーディネーター報交換会 会場：田原福祉センター	17人

#### 5 生活ささえあいネット事業(市受託事業)

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
8,020,284円	8,138,900円	△118,616円

##### [目的]

日常生活で支援が必要になっても安心して生活できる地域環境を整えるため、身近な地域での助け合いを支援します。

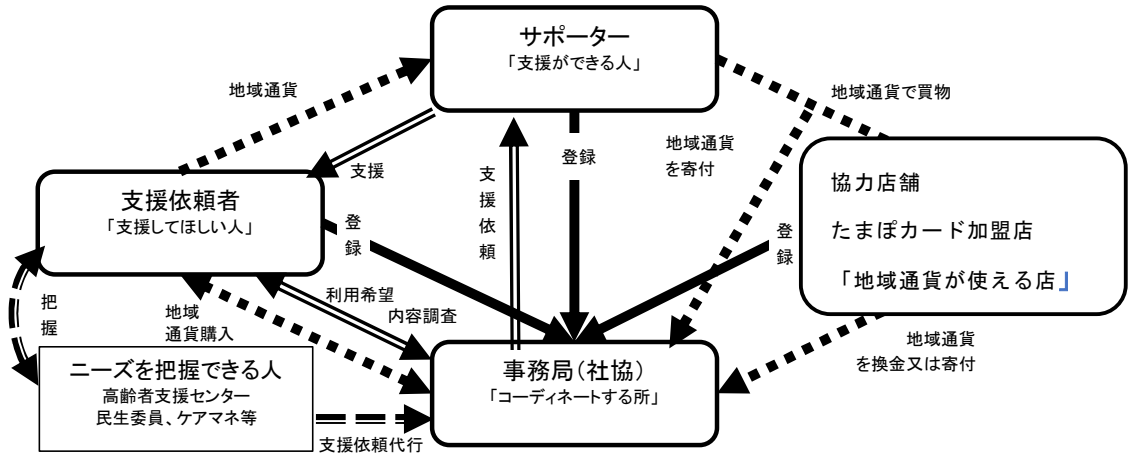
##### [主な事業内容・実績]

公的なサービスでは対応できない日常生活で起こるちょっとした困りごとを持つ人（支援依頼者）と、地域のボランティア（サポーター）が、「おたがいさま」の気持ちで支え合う仕組みをコーディネートします。お礼の気持ちを形にした地域通貨『菜』の使用を、協力店舗だけではなく、たまぽカード加盟店でもポイントとして付与できるしくみに変更し、新しい菜を発行しました。

また、サポーターの意見を聞き取り、互助を積極的に行う地域づくりを推進するとともに、依頼者に対しては、困りごとの内容によって、適切なつながり先を紹介するなど、関係機関と連携して支援を行いました。個別ケースを通して把握した地域課題は、生活支援体制整備事業と連携して検討機会を設定しています。

- 支援依頼者、サポーター及び協力店舗の登録
- 支援依頼の受付、サポーターへの支援依頼（コーディネート）
- 地域通貨の発行、換金及び管理
- 関係機関との連携（連絡、つなぎ等）
- 地域課題の発見

生活ささえあいネット事業概要図



※生活ささえあいネット地域通貨

- ・単位「菜（さい）」（100菜通貨1種のみで10枚綴り1冊）
- ・販売価格1,200円/冊（事務手数料200円含む）
- ・30分相当の支援に対し、100菜をお礼として渡す。
- ・100菜はたまぼカード100ポイントとして付与ができる。

(1) 登録状況

区分	支援依頼者(人)		サポーター(人)		協力店舗	
	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
年度末登録	147	145	159	159	40 事業所 45 店舗	40 事業所 46 店舗

(2) 支援実績等

区分	初回コーディネート(件)		地域通貨販売(冊)	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
年度実績	6	10	90	90
累計※	198	192	892	802

※累計は、平成26年10月の事業開始当初からの累積合計数  
 ※令和4年10月からたまぼカード連携のため新しい菜に変わりました。

### (3) 啓発活動等

#### ア 説明会

日付	対象者	会場	参加人数(人)
4月4日	六連自治会役員会議	六連市民館	11名
4月14日	堀切市民館見守り隊検討会	堀切市民館	12名
4月23日	東部自治会長・民生委員意見交換会	東部市民館	11名
9月9日	民生児童委員（田原地区）	田原福祉センター	41名
9月13日	民生児童委員（東部・赤羽根地区）	田原福祉センター	27名
9月16日	民生児童委員（渥美地区）	田原福祉センター	41名
9月22日	認知症サポーター養成講座受講者	あつみライフランド	25名
9月27日	認知症サポーター養成講座受講者	田原福祉センター	22名
3月6日	認知症サポーター養成講座受講者	泉市民館	8名
3月23日	健康づくりリーダー定例会	田原福祉センター	18名

\*開催10回、合計216名

#### イ 広報

- ・社協広報紙「社協だより」掲載（11月15日発行）

## 6 地域福祉ネットワーク事業(市受託事業)

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
7,700,916円	8,334,650円	△663,734円

#### [目的]

地域住民が相互に協力して障害者や高齢者等に対して支援を行うためのネットワークづくり・地域づくりを推進し、小地域での居場所を提供することで地域福祉の増進を図ります。

#### [主な事業内容・実績]

○福祉関係事業者やボランティア（団体・個人）、その他の社会資源との連携並びに地域課題について情報交換
○小地域での交流の場として社協サロンの開催および自主グループへの支援
○新規の自主サロン活動グループの育成
○保育園児とサロン参加者等との交流会を支援
○学校と地域のつながりづくりを支援
○学童とサロン参加者等との交流会を支援
○小・中・高校における福祉教育啓発活動や実践教室での講師派遣調整
○小地域活動を支援するための講座、映画会

### (1) 地域福祉活動の推進（市民館まつり等応援）

#### 市民館まつり等の応援

校区コミュニティが開催する市民館まつり等の行事に出向き、各種講座、ボランティア活動や共同募金等、社協が行う地域福祉活動に関する啓発を行うとともに、地域住民との交流を図りました。

開催日	行事名	対応状況
5月29日	童浦市民館まつり	職員3人
6月19日	清田市民館まつり	職員2人
10月2日	和地市民館まつり	職員2人
10月15日	田原南部市民館まつり	職員2人
10月16日	田原中部市民館まつり	職員2人
10月16日	堀切市民館まつり	職員2人
10月15日	田原東部市民館まつり	チラシ配架
10月22日	大草市民館まつり	職員2人
10月22日	中山市民館まつり	職員2人
10月22日	若戸市民館まつり	職員2人
10月22日	泉市民館まつり	職員2人
10月22日	野田市民館まつり	チラシ配架
10月22日	赤羽根市民館まつり	チラシ配架
10月22日	福江市民館まつり	チラシ配架
10月23日	市民まつり 田原文化会館	職員6人
10月30日	六連市民館まつり	職員2人
10月30日	衣笠市民館まつり	職員2人
10月30日	神戸市民館まつり	チラシ配架
11月12日	亀山市民館まつり	職員2人
11月7日	高松文化祭	チラシ配架

(2) 福祉出前講座、なつかしの映画上映会の開催

市内のサロンや老人クラブなどに出向き、レクリエーションや福祉関連施策等について紹介する講座を開催しました。

また、サロンを対象に映画を通して交流を楽しむ『なつかしの映画会』を開催しました。

① 福祉出前講座

区分	令和4年度	令和3年度
開催回数 (回)	10	11
延参加者数 (人)	83	105

② 映画会

区分	令和4年度	令和3年度
開催回数 (回)	9	7
延参加者数 (人)	166	100

### (3) サロンの開催及び支援

市民館や集会所等身近な場所で、手芸・ゲーム・語らいのひとつを過ごし、地域の中で交流し、元気に長生きすることを目的に社協サロンを設置し、高齢者等の憩いとふれあいの場を提供しました。

自主活動グループによるサロン運営に対して助成金の交付を行うとともに、レクリエーション器材貸出等の支援を実施しました。また、サロン代表者の交流及び意見交換を目的として自主サロン代表者連絡会を開催しました。

#### ア 開催実績

区分		令和4年度			令和3年度		
		グループ・会場数	延開催回数(回)	延参加人数(人)	グループ・会場数	延開催回数(回)	延参加人数(人)
社協主催サロン		18	398	2,126	18	322	2,099
自主サロン	1日を通して実施	5	205	3,207	6	201	3,087
	半日実施	36	1,401	16,207	35	1,150	11,993
合計		59	2,004	21,540	59	1,673	17,179

※社協主催サロンには、指導員（臨時職員）を派遣しています。

#### イ 助成制度

区分	開催回数	人数	助成金額(円)
1日を通して実施（※） (旧コミュニティサロン)	月2回程度	10人未満	54,000
		10人以上20人未満	72,000
		20人以上	96,000
半日実施（旧シルバーサロン） ※助成初年度から3年度目まで	月1回以上	5人以上10人未満	20,000
		10人以上	30,000
半日実施 ※助成4年度目以降	月1回以上	5人以上10人未満	15,000
		10人以上	20,000

※1日を通して実施しているサロンへの助成金には、共同募金配分金が活用されています。

### (4) 地域における世代間交流

新型コロナウイルスの影響により、多くの地区で開催の見送り（自粛）が余儀なくされるなか、要望のあった3地区で市内の保育園、小学校の園児や児童との多世代交流の場を設けました。

開催日	サロン名	行事名	対応状況
7月7日	泉校区社協サロン	泉保育園七夕交流会	職員1人
8月3日	はまなす会	清田校区学童 19名 折紙紙芝居交流会	ボランティア5人 職員1人
8月24日	はまなす会	福江校区学童 38名 折紙紙芝居交流会	ボランティア5人 職員1人



(5) 社会福祉活動協力校事業

市内の小・中・高等学校（小学校18校、中学校4校、高等学校3校）を社会福祉活動協力校に指定し、1校最大で5万円の助成金を交付するとともに、福祉実践教室への講師派遣等を実施し、児童・生徒の健やかな成長を促し、思いやりのある福祉の心を育てるよう支援を行いました。

区分	令和4年度		令和3年度	
	開催回数(回)	参加人数(人)	開催回数(回)	参加人数(人)
車いす	12	510	12	453
手話	15	657	13	504
要約筆記	2	61	3	91
点字	13	468	10	326
盲導犬	5	209	1	18
視覚ガイド	11	421	10	390
知的障害	1	37	1	65
高齢者擬似体験	5	197	3	101
認知症	8	252	6	230
講話	0	0	1	130
合計	72	2,812	60	2,308

※社会福祉活動協力校への助成金には、共同募金配分金が活用されています。

7 生活支援体制整備事業(市受託事業)

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
12,178,171円	9,992,408円	2,185,763円

[目的]

ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯、認知症高齢者等の増加に伴い生活支援ニーズが多様化するなか、既存の介護サービス事業所によるサービスだけでなく、地域住民が担い手となった社会資源やサービスの充実が図られるよう、生活支援等の体制整備に向けた調整役として生活支援コーディネーター（第二層）を配置し、助け合い活動の創出に向けた地域情報の交換の場（協議体）の開催とネットワークの構築といった生活支援・介護予防サービスの基盤整備を推進します。

[主な事業内容]

<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起           <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の生活をささえあうための活動に関するニーズの把握、課題整理</li> <li>・地域資源に関する資料の更新又は集約活動</li> <li>・地域の困りごとを我が事と捉え、地域住民が主体的にできることは何かを考えるきっかけづくり</li> </ul> </li> <li>○関係機関（自治会、高齢者支援センター等）とのネットワークの構築</li> <li>○生活支援の担い手（ボランティアやサロン運営者）の養成やサービスの開発</li> <li>○ニーズと生活支援サービスのマッチング</li> <li>○必要時、個別ケア会議への出席</li> <li>○高齢者の就労的活動の実情とニーズの把握</li> </ul>
--

決算額は前年度と比較して、人員配置を増員したため増額となりました。

(1) 地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起

田原市内の生活支援サービスについて聞き取りを行い、生活ささえあいネット事業や介護予防事業の課題を共有し、検討する機会を持ちました。

個別のケースから地域課題を把握し、検討するとともに、市役所高齢福祉課、地域福祉課に報告し、地域課題解消のための仕組みづくりを提案しました。

区分	令和4年度(回)	令和3年度(回)
地域生活のニーズ把握、課題整理	131	161
地域資源に関する資料更新、集約活動	132	196
地域住民が可能なことを考えるきっかけづくり	175	187

(2) 関係機関とのネットワークの構築

高齢者支援センター、地域福祉ネットワーク事業担当、閉じこもり予防担当等と意見交換を実施し、地域住民やコミュニティからの意見を聞き取るために地域に出向く機会を増やしました。また、認知症地域支援推進員と共に講座を開催し、地域住民に人と人のつながりの大切さを啓発しました。

区分	令和4年度(回)	令和3年度(回)
関係機関等との連携強化	517	494
第二層協議体の設置	7	7

(3) 生活支援の担い手養成やサービスの開発

市民館カフェなどの取組が先行している地域の情報を提供し、立ち上げ方についての提案を行いました。また、認知症地域支援推進員と協働で認知症サポーター養成講座や地域包括ケアシステムの講座を行い、地域の担い手の養成を図りました。

サロン、体操教室、閉じこもり予防教室を訪問し、参加者から話を聞く中で、サロンの担い手不足などの課題を把握し、活動できる方を紹介するなどの支援や情報提供を行いました。

区分	令和4年度(回)	令和3年度(回)
地域の担い手の発掘及び働きかけ促進 (サロンやボランティア団体等との交流、相互理解促進)	64	64
地域とのつながりをつくり、サービスの開発を促進	39	41

(4) 個別ケア会議への出席

区分	令和4年度(回)	令和3年度(回)
個別ケア会議への出席	11	8

(5) 働き方に関するアンケートを実施し（回答者 168 名）、高齢者の就労的活動の実情とニーズを把握しました。

(6) 活動区分数

	令和4年度(回)	令和3年度 (回)
訪 問	314	319
電 話	121	139
来 所	59	54
その他※	74	91
合計	568	603

※その他は、社会福祉協議会内他事業との情報共有、活動調整の数です。

## ◎福祉サービス利用支援

### 8 成年後見センター事業（市受託事業）

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
14,212,000円	13,564,820円	647,180円

[目的]

判断能力が十分でない障害者や高齢者の日常生活上必要な契約行為・財産の管理、権利侵害に対して、本人やその親族等養護者を支援することにより、本人の利益や権利の擁護に努めます。

[主な事業内容・実績]

成年後見制度利用に関する相談や権利侵害への対応、法人後見（{身上監護（契約手続等）と財産の管理}）の受任などの権利擁護・成年後見業務を行いました。

- 判断能力が不十分な方への権利擁護に関する相談対応
- 成年後見制度の申立支援（市長申立が必要な対象者への支援含む）
- 成年後見センター運営委員会の開催
- 法人後見人・法人後見監督人の受任
- 親族後見人等の相談対応
- 成年後見・権利擁護に関する啓発事業等の開催
- 日常生活自立支援事業利用に関する相談対応、支援
- 市民後見人等養成の検討

(1)成年後見センター運営委員会

- ・開催回数 全1回(9月20日)

(2) 広報及び周知啓発活動

- ・社協広報紙「たはら社協だより」掲載(7月号、11月号)
- ・成年後見センター啓発講座『地域で見守る～高齢者、障害者等の消費者トラブルを防ごう～』(1月19日)

(3) 他機関との連携

- ・田原市障害者自立支援協議会  
権利擁護部会(全2回/7月13日、3月9日)
- ・家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会(全1回/2月)
- ・東三河5市社協成年後見事業情報交換会(全2回/9月田原市、2月豊橋市)
- ・全国権利擁護支援ネットワーク第10回実践交流会(9月/第1分科会報告者)

(4) 成年後見制度、権利擁護等に関する一般相談、支援

区分	令和4年度(人)	令和3年度(人)
相談実人数	52	65
内成年後見申立支援	6	4

(5) 法人後見の受任

区分	令和4年度(人)	令和3年度(人)
後見	9	10
保佐	6	5
補助	2	2
合計	17	17

9 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
740,765円	792,281円	△51,516円

[目的]

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など判断能力が十分でない方のために、福祉サービスを利用時の援助などを行うことで、自立した生活が送れるよう支援します。

[主な事業内容・実績]

- 福祉サービスの利用援助(相談・助言・情報提供、連絡調整、代行、代理)
- 日常的金銭管理サービス(利用料:1回 1,200円)
- 書類等の預かりサービス(利用料:年間 3,000円)

(1) 利用者内訳

区分	令和4年度(人)	令和3年度(人)
昨年からの継続利用者数	9	12
新規契約件数	4	1
合計	13	13
終了件数	1	3
年度末時点利用者数	12	10
未契約者数 (契約準備中/県社協承認済)	0	1

(2) 区分別利用者数

区分	認知	知的	精神	合計
人数	5	4	3	12

10 資金貸付事業(県社協受託事業)

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
1,051,673円	2,762,579円	△1,710,906円

[目的]

経済的、社会的基盤の不安定な低所得世帯等に対し、低利子又は無利子で福祉資金の貸付を行い、償還指導や生活援助活動を通して世帯の安定と自立を図ります。

[主な事業内容・実績]

- 生活福祉資金の貸付
- くらし資金の貸付

決算額は前年度と比較して、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した世帯を対象とした特例貸付の申請受付が令和4年9月末で終了したことに伴い、減額となりました。

(1) 生活福祉資金貸付事業

区分	令和4年度(件)	令和3年度(件)
相談件数	45	194
貸付件数	33	191

(2) くらし資金貸付事業

区分	令和4年度(件)	令和3年度(件)
相談件数	0	0
貸付件数	0	0

## 1 1 心配ごと相談事業（市受託事業）

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
1,883,500円	1,863,000円	20,500円

### [目的]

市民の日常生活上の様々な心配ごとの相談に無料で応じ、弁護士・司法書士・行政相談委員・民生児童委員・人権擁護委員等の相談員と連携し、適切な助言・指導等を行うことにより、福祉の増進を図ります。

### [主な事業内容・実績]

○田原福祉センター	奇数月2回（原則第1・第3水曜日） 偶数月3回（原則第1・第3水曜、第4木曜日） 午後1時～午後4時
○赤羽根福祉センター	隔月1回（偶数月第2水曜日） 午後1時～午後4時
○あつみライフランド	毎月1回（原則第1火曜日） 午後1時30分～午後4時
※1件当たりの相談時間は30分	

### (1) 会場別相談実績

地区	田原		赤羽根		あつみ		合計	
	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
相談件数(件)	145	163	0	0	39	50	184	213

### (2) 内容別相談実績

内容	件数	内容	件数	内容	件数
生計	0	年金	4	職業・雇用	5
借金	5	貸金	6	多重債務	0
消費者被害	4	財産	4	土地・建物	18
借地・借家	4	境界・登記	6	相続	56
成年後見	2	家族・家庭	6	離婚・養育費	27
損害賠償	14	事故	1	DV・虐待	0
人権法律	2	その他	20		
合計				184	

## 1 2 障害児相談支援事業

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
0円	0円	0円

### [目的]

児童福祉法等関係法令に基づく指定事業所として、障害のある児童やその家族の地域生活を支援します。

[主な事業内容・実績]

障害のある児童が障害福祉サービスを利用するため、障害児支援利用計画書を作成し、サービス利用支援や訪問等によるモニタリングを行います。

○田原市社協相談支援事業所 営業日 月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く) ・障害児支援利用計画書を作成、福祉サービスの利用援助 ・モニタリングの実施 ・障害児の居宅生活について必要な情報提供及び助言による援助
---

利用状況

区分	令和4年度	令和3年度
利用計画書作成件数 (件)	0	0

※障害児の相談については、田原市こども相談支援事業所が専門的に受けることが多いため、本年度は作成依頼なし。

1.3 一般相談支援事業

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
0円	0円	0円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、精神科病院に長期入院している方を対象に、退院後に地域で安心して生活ができるよう地域移行支援や単身で生活に不安がある方に、地域定着支援を行います。

[主な事業内容・実績]

○田原市社協相談支援事業所 営業日 月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く) ・地域移行支援 (精神科病院に長期間入院している方や、障害者支援施設に入所している方を対象に、退院や退所後に地域に移行して安心して生活できるよう住居確保、体験宿泊支援、障害福祉サービス利用調整等の支援) ・地域定着支援 (病院や施設から退院・退所した方、地域生活が不安定な方を対象に、常時の連絡体制を築き、緊急の事態等に対応する支援)
--

利用状況

区分	令和4年度	令和3年度
利用計画書作成件数 (件)	0	0

※令和4年度は田原市内の実績は0件です。

#### 1 4 特定相談支援事業（市受託事業）

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
16, 161, 540円	13, 840, 669円	2, 320, 871円

##### [目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、障害者等を対象に、障害福祉サービス利用計画書を作成し、適切なサービス提供を行います。

##### [主な事業内容・実績]

不安の解消や余暇活動等、日常生活の様々な相談に応じるほか、就労希望障害者に対して、障害者雇用が可能な企業等を開拓し、就労支援を推進しました。

○田原市社協相談支援事業所 営業日 月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)
・サービス等利用計画書の作成、福祉サービスの利用援助
・モニタリングの実施
・社会資源を活用するための支援
・社会生活力を高めるための支援
・権利の擁護のために必要な援助
・専門機関の紹介
・就労に関する支援
・生活保護被保護者への就労支援
・市内の障害者等のニーズの把握に関する業務
・地域自立支援協議会各会議の運営に関する業務
・介護保険サービスとの併用世帯や権利擁護を必要とする障害者に関する相談支援業務等

決算額については、事業費等は前年並みですが、内部取引額（他事業への財源補填支出）の影響で前年度と比較して増額となりました。なお、相談内容としては前年度に続き就労に関するものが増加しており、内容の複雑化も重なり、相談及び支援延べ回数は増加傾向にあります。

##### (1) 相談実績

相談方法	※相談実人数累計（人）		相談延回数(回)	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
電話相談	84	70	558	418
来所相談	51	48	173	141
訪問・同行	65	50	182	132
その他(連絡調整等)	275	266	3, 174	2, 249
合計	475	434	4, 087	2, 940



## (2) 支援実績

支援内容	※支援実人数累計(人)		支援延回数(回)	
	4年度	3年度	4年度	3年度
福祉サービスの利用支援 (障害児、一般、特定相談支援含む)	131	151	2,537	1,841
障害や症状の理解に関する支援	1	0	1	0
健康・医療に関する支援	10	2	24	3
不安の解消・情緒安定に関する支援	8	7	20	22
保育・教育に関する支援	0	0	0	0
家族関係・人間関係に関する支援	1	0	2	0
家計・経済に関する支援	5	3	33	5
生活技術に関する支援	1	4	6	4
就労に関する支援	104	89	1,441	1,013
社会参加・余暇活動に関する支援	1	1	2	1
権利擁護に関する支援	1	2	1	2
その他情報交換・生活状況確認等	11	25	20	49
合計	274	284	4,087	2,940

※(1)相談実績と(2)支援実績の支援実人数累計の合計が異なるのは、集計方法が異なるためです。

## (3) サービス等利用計画作成実績

実利用者数(人)		計画等作成件数(件)	
令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
120	134	462	422

## (4) 就労支援実績及び支援内容(相談件数は(1)(2)に含む)

## ア 支援対象者数

## (ア) 障害別

身体障害		知的障害		精神障害		その他(※)		計(人)	
4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
11	5	39	37	49	43	22	13	121	98

※「その他」とはうつ病、発達障害、パニック障害等の障害者手帳未所持者

## (イ) 就労状況別

在職		求職		計(人)	
4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
76	65	30	33	106	98

イ 就職等の状況

就労支援（人）		定着支援（人）		※定着支援のうち			
				福祉的就労（人）		定着支援事業利用者（人）	
4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
30	29	76	58	15	8	11	8

1 5 高齢者支援(地域包括支援)センター事業(市受託事業)

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
41,230,903円	36,117,460円	5,113,443円

[目的]

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、高齢者が住みなれた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続できるよう、介護、保健、医療、福祉の増進を包括的に支援します。

[主な事業内容・実績]

- 主センター 赤羽根福祉センター内  
サブセンター 渥美福祉センター(ライフランド)内
- 営業日 月曜日から金曜日(祝日、12月29日～翌年1月3日を除く) 携帯電話への転送機能を使用し、24時間365日の相談対応を行います。
- 総合相談支援業務
  - ・総合的な相談支援
  - ・ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯への訪問による生活状況の確認と課題の早期発見
- 権利擁護業務
  - ・高齢者虐待の防止、消費者被害の防止活動
  - ・成年後見制度、日常生活自立支援制度活用の促進
- 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
  - ・地域の介護支援専門員と関係機関の連携支援
  - ・困難事例の相談受付及び同行訪問等の支援
  - ・事例検討会・研修会の実施
- 介護予防に係るケアマネジメント業務
  - ・事業対象者、要支援認定者の自立した日常生活の支援
  - ・介護予防に取り組む必要がある高齢者の把握及び介護予防に関する教室への参加促進
- 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築
  - ・地域の保健・福祉・医療サービス・ボランティア等の連携支援
  - ・生活支援コーディネーター、地域コミュニティと連携して社会資源を把握
- 認知症に関する取り組み
  - ・認知症地域支援推進員を配置します。
  - ・認知症に関する正しい知識の周知・啓発活動
  - ・認知症高齢者やその家族を地域で支え、見守る体制の構築
- 地域ケア会議の推進
  - ・多職種協働による個別ケースの検討及び問題解決
  - ・個別ケースの課題分析等を通じた地域課題の発見と地域づくり検討

決算額は前年度と比較して、職員を増員（介護予防プランの作成件数の増加、複雑化する相談支援の対応等）したため増額となりました。

窓口	設置場所	営業日	担当圏域
主センター (総合相談)	赤羽根福祉センター	月曜日から 金曜日まで (祝日、12 月29日～翌 年1月3日を 除く)	野田小学校区 赤羽根中学校区 伊良湖岬小学校区
サブセンター (総合相談)	あつみライフランド		
ブランチ (窓口機能)	田原福祉センター		

主センター、サブセンターは携帯電話への転送機能を使用し、24時間365日の相談対応を行いました。

#### (1) 総合相談支援業務等

総合相談の実人数は前年度より増加し、相談時間も微増しています。初期相談内容は例年と大きな変化はありませんでした。

実態把握業務は例年通り行いましたが、新規訪問先で拒否が数件ありました。

民生児童委員との情報交換会はほぼ予定通り開催できました。

高齢者支援センターの機能紹介はリーフレットで配布・説明しましたが、地域の人が集まる場所での配布はほとんど行えませんでした。

介護保険関係事業者等連絡会の事務局として研修会等の開催・事業者ガイドブックの作成を実施しました。ネットワーク構築に費やす時間は、新型コロナウイルスの影響等でコロナ流行前に比べ4割ほど減少しています。

#### ア 赤羽根福祉センター・あつみライフランド

新規相談実人数 令和4年度：273人 令和3年度：237人

圏域	電話 (件)		来所 (件)		訪問 (件)		計 (件)	
	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
野 田	125	96	28	13	103	124	256	233
赤 羽 根	284	241	83	65	259	301	626	607
泉	331	157	111	213	220	195	662	565
伊良湖岬	328	279	80	61	288	230	696	570
担当圏域外	19	17	30	25	0	0	49	42
合計	1087	790	332	377	870	850	2289	2,017

イ 田原福祉センター 相談窓口（ブランチ）

校区等	電話(件)		来所(件)		訪問(件)		計(件)		担当高齢者 支援センタ ー
	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	
野田	0	4	4	1	0	0	4	5	社協
赤羽根	1	2	1	2	0	0	2	4	
泉	1	0	0	0	0	0	1	0	
伊良湖岬	2	0	3	0	0	0	5	0	
福江	2	3	4	1	0	0	6	4	福寿園
東部	4	5	6	2	0	0	10	7	
童浦小	2	2	7	3	0	0	9	5	
田原(童浦小除)	3	1	1	4	0	0	4	5	あつみの郷
不明・市外等	3	3	4	5	0	0	7	8	—
合計	18	20	30	18	0	0	48	38	—

ウ ネットワーク構築

圏域	令和4年度(件)	令和3年度(件)
野 田	4	4
赤 羽 根	8	13
泉	7	16
伊 良 湖 岬	33	29
市内全般	54	69
合計	106	131

(2) 権利擁護業務

認知症や精神疾患等により判断能力が不十分な方には日常生活自立支援事業（地域での自立した生活の支援）の利用を促すとともに、虐待や消費者被害にも積極的に対応しました。

虐待対応の実人数は減少していますが、支援が長期化する傾向にあり、対応延件数は増加しています。

困難事例では親族間関係が希薄なケースや共依存的なケースなど経済的な問題が含まれることが多く、成年後見センターや生活困窮者自立支援事業等他機関と協働し対応しています。

援助項目	延件数(件)	
	令和4年度	令和3年度
成年後見の利用(利用相談含む)	63(実人数2名)	45(実人数2名)
虐待への対応	103(実人数1名)	57(実人数6名)
消費者被害への対応	15(実人数1名)	12(実人数3名)
困難事例への対応	339(実人数4名)	487(実人数10名)
合計	520(実人数8名)	601(実人数21名)

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域ケア個別会議や担当者会議を通じて、地域との連携を意識して関係構築を図り、対象者が安心して生活できるよう支援しています。

また、地域のケアマネジャーの資質向上のための事例検討会を開催しました。

相談内容は、認知症に関する相談が増加しているほか、経済的困窮に係る支援が長期化する傾向にあります。

区分		令和4年度	令和3年度
個別支援	実人数(人)	12	13
	延べ支援数(回)	307	338

(4) 介護予防ケアマネジメント業務

自立支援を目標とした予防プラン作成を心がけました。また、地域のサロン、教室、集いへの参加の声掛け、インフォーマルサービスの活用を提案を行いました。予防プラン作成件数は前年度に比べ増加しています。

ア 指定介護予防支援等(要支援の方等のプラン作成)

区分	令和4年度	令和3年度
年度末登録者数(人)	197	175
予防プラン作成件数(件)	2,188(委託件数0件)	2,075(委託件数0件)

イ 指定介護予防支援等相談内訳

圏域	電話(件)		来所(件)		訪問(件)		連絡調整(件)		計(件)	
	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
野田	201	154	6	2	476	417	648	205	1,331	778
赤羽根	299	192	18	11	600	434	965	415	1,882	1,052
泉	371	258	3	2	447	395	764	232	1,585	887
伊良湖岬	506	484	41	31	560	664	950	583	2,057	1,762
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,377	1,088	68	46	2,083	1,910	3,327	1,435	6,855	4,479

(5) 認知症に関する取り組み

認知症サポーター養成講座は、新型コロナウイルスの影響で小規模になり啓発も縮小して実施しました。また、認知症の方が地域の集いに参加しやすくなるように教室やサロンに出向き、状況を確認した上で参加を促すチラシを作成・配布しました。

ア 認知症サポーター養成講座

開催数(回)		参加人数(人)	
4年度	3年度	4年度	3年度
7	9	162	168

イ 認知症対応講座

開催数(回)		参加人数(人)	
4年度	3年度	4年度	3年度
3	1	67	12

## (6) 地域ケア会議の推進

必要に応じ地域ケア会議を開催し、チームでの個別支援とネットワーク構築に向けた地域課題把握等を行いました。

個別支援開催数(回)		圏域課題支援(回)	
4年度	3年度	4年度	3年度
8	11	0	0

## 1 6 生活困窮者自立相談支援事業（市受託事業）

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
21,123,993円	18,014,000円	3,109,993円

### [目的]

さまざまな困難を抱え生活に困窮している方へ包括的な相談支援を行うことにより、生活保護に至る前の自立を促します。

### [主な事業内容・実績]

田原福祉センターに職員を配置し、寄り添いながら自立に向けた支援を行いました。

コロナ禍の生活困窮者の抱えている課題を適切に評価・分析し、住居確保給付金利用や食料の支給、医療機関へのつなぎや企業への就職に関する支援をしました。また、失業給付や障害年金、傷病手当金受給手続き、貸付制度等他の福祉制度の紹介・利用支援、その他必要に応じて課題を踏まえた個別の支援を行いました。

また、食料支援のためのフードドライブ（食品の寄付受付）のほか、生理の貧困（困窮や知識不足等により生理用品を入手できない状態）対策として周知啓発活動、公共機関や生活困窮者への生理用品の配布を行いました。

地域住民が発起人となって始まった子ども食堂については、立ち上げや運営の支援を行っています。

#### ○職員体制（田原福祉センターに配置）

- (1) 主任相談支援員兼就労支援員 1人（兼任）
- (2) 相談支援員 1人（兼任）
- (3) 就労支援員 1人（兼任）

#### ○利用対象者

経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方

決算額は前年度と比較して、困難事例（多問題世帯や外国人世帯への対応）の増加や長期化する相談支援に対応するため、職員を増員したことに伴い増額となりました。

(1) 相談実績

区分	令和4年度(件)	令和3年度(件)
新規	80	82
住居確保給付金受付	1	1
食料支援	302	264
食料寄付受付	177	170
生理用品支給	10	28

(2) 子ども食堂の立ち上げ、運営支援

名称：たはらふれあい食堂

開催日：令和5年3月19日

場所：田原町晩田「TAMARIVA」（田原中部小学校区）

参加者：65名

1.7 生活困窮者等就労準備支援事業（市受託事業）

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
4,202,038円	3,292,669円	909,369円

[目的]

就労に向けた準備が整っていない生活困窮者等に、生活習慣確立のための指導等を行い、日常生活や社会生活の自立を支援します。

[主な事業内容・実績]

就労に向けた準備として、日常生活や社会生活自立支援段階から相談に応じ、社会参加・就労への第一歩を支援しました。

○職員体制	就労準備支援員 1人（田原福祉センター）
○利用対象者	生活リズムが崩れている等の理由により、就労にむけた準備が整っていない生活困窮者等

相談実績

区分	令和4年度	令和3年度
計画作成（件）	5	4
相談件数（件）	11	6

1.8 障害福祉サービス事業（障害者総合支援法に基づく事業）

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
9,553,964円	10,042,937円	△488,973円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定居宅介護事業所として、利用者が居宅において自立した日常生活や社会生活を営むことを支援します。

[主な事業内容・実績]

必要な居宅介護及び同行援護を適切に行いました。

○田原市社協ヘルパーステーション

営業日 月曜日から日曜日

(第3日曜日、12月29日～翌年1月3日を除く)

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
23	24	2,289	2,387	2,177	2,337

### 19 就労移行支援事業(障害者総合支援法に基づく事業)

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
19,783,239円	22,114,719円	△2,331,480円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、一般企業への就職を希望し、雇用される見込みのある障害者に対して「安心して働けること」を目標に支援します。

[主な事業内容・実績]

本人の意向・適性に基づいた計画書を作り、施設内での就労訓練や職場実習等を行うことにより、早期の就労を図るとともに、就職後の定着支援を行いました。

○多機能型事業所田原市社協・就労定着支援事業所

営業日 月曜日から金曜日まで

(祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)

- ・個別支援計画の作成
- ・就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練
- ・生産活動の機会の提供
- ・実習先企業等の紹介
- ・就労への移行に向けた求職等の支援
- ・就労後の職場定着のための支援

決算額は前年度と比較して、職員配置の変更と利用実績の減少により減額となりました。

利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)		就職者数(人)	
4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
8	7	1,111	1,524	3	7

※利用者数については、年度末における数値



## 20 移動支援事業

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
4,725,700円	4,180,903円	544,797円

### [目的]

田原市等の地域生活支援事業の指定事業所として、障害者児の余暇支援等が適切に行えるよう外出援助を行います。

### [主な事業内容・実績]

利用者が映画、各種イベント等に参加する際の外出支援を行いました。

○田原市社協ヘルパーステーション 営業日 月曜日から日曜日 (第3日曜日、12月29日～翌年1月3日を除く)
--

### 事業実績

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
25	20	2,833	1,705	469	399

## 21 生活介護事業(障害者総合支援法に基づく事業)

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
36,689,210円	35,813,388円	875,822円

### [目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう適正なサービスを提供することを目的とします。

### [主な事業内容・実績]

居宅に近い環境の中で、地域及び家族との結びつきを大切に、創作、作業、余暇活動等を行い、生きがいや居場所づくりを行いました。

○田原市社協生活介護事業所なのはな(18歳以上の障害者を対象) 営業日 月曜日から金曜日 (8月13日～15日、12月29日～翌年1月3日及び「海の日」「スポーツの日」「敬老の日」「成人の日」を除く)
--

### 利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)	
令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
26	26	2,598	2,739

## 2 2 日中一時支援事業（障害者総合支援法に基づく事業）

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
3,982,636円	4,269,687円	△287,051円

### [目的]

田原市地域生活支援事業の指定事業所として、障害者（児）の日中における活動の場を確保するとともに、家族の就労支援や日常生活の介護負担の軽減を図ります。

### [主な事業内容・実績]

田原市地域生活支援事業（給付事業）実施要綱に基づき、利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、必要な訓練等を行いました。

○田原市社協日中一時支援事業所
営業日 月曜日から金曜日の祝日及び土曜日 （「学校長期休業日」後と「こどもの日」後の最初の土曜日を除く） 学校長期休業日は月曜日、火曜日及び木曜日から土曜日 （8月13日から8月15日及び12月29日～翌年1月3日を除く）

### 利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)	
令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
11	16	332	594

実績の減少については、市内に放課後デイサービスが複数開業し社会資源が増え、利用者の選択肢が増えたためと思われます。

## ◎在宅福祉サービス

### 2 3 居宅介護支援事業(介護保険事業)

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
60,374,312円	64,527,857円	△4,153,545円

### [目的]

介護保険法の居宅介護支援事業の指定事業所として、要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように配慮して介護支援を行います。

### [主な事業内容・実績]

介護保険制度における介護サービスを利用するためのサービス計画(ケアプラン)を作成し、要介護者とその家族の生活を支援しました。

赤羽根及び渥美の2箇所に拠点を設置し、介護サービス等に関する相談支援を行いました。

- 田原市社協あかばねケアプランセンター
- 田原市社協あつみケアプランセンター
- 営業日 月曜日から金曜日まで  
(祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)
- ・各種介護相談対応、申請援助
- ・要介護者等の在宅生活を支える居宅サービス計画書（ケアプラン）の作成
- ・施設入所等の相談対応
- ・入退院時の医療機関との連携
- ・他市町村からの要介護認定調査依頼の受託

決算額は前年度と比較して、職員配置の変更と利用実績の減少により減額となりました。

事業所	年度末登録者数(人)		プラン作成件数(件)	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
赤羽根	130	170	1,530	1,792
あつみ	171	192	2,065	2,055
計	301	362	3,595	3,847

#### 2.4 訪問介護事業（介護保険事業及び市受託事業）

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
31,912,276円	32,080,313円	△168,037円

##### [目的]

介護保険法の訪問介護及び介護予防訪問介護事業の指定事業所として、利用者の意欲を高めるような適切な働きかけを行うとともに、利用者の自立の可能性を最大限引き出す支援を行います。

##### [主な事業内容・実績]

介護を必要とする方にヘルパーを派遣し、身体介護や生活援助等のサービスを提供しました。

- 田原市社協ヘルパーステーション
- 営業日 月曜日から日曜日  
(第3日曜日、12月29日～翌年1月3日を除く)

##### (1) 訪問介護(要介護1～5)

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
19	18	1,768	1,793	2,262	2,390

(2) 介護予防訪問介護（要支援1～2）

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
17	18	1,243	1,361	1,310	1,374

(3) 学校生活介助員事業(市受託事業)

障害等を有し学校生活への適応が困難な児童・生徒に対し、必要に応じて田原市内の小・中学校に学校生活介助員を派遣します。

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
0	0	0	0	0	0

※利用申請がないため実績なし

## 2.5 福祉車両運行サービス事業

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
1,921,066円	1,399,715円	521,351円

[目的]

高齢や障害により自力で公共交通機関を利用することが困難な方を会員とし、医療機関や公共施設などへの移動手段として福祉車両による送迎を行うことにより、在宅生活の支援に努めます。

[主な事業内容・実績]

医療機関や公共施設などへ移動する際の送迎サービスを行いました。

○月曜日から金曜日まで（祝日、12月29日～翌年1月3日を除く） 午前8時30分～午後5時15分
○利用料金は、利用者の家から目的地までの距離により異なる
○発着のどちらかが、田原市内であることが条件

利用実績

事業所	年間延利用件数(件)					
	高齢者		障害者		計	
	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
田原	457	474	260	143	717	617
赤羽根	0	0	0	0	0	0
渥美	189	201	91	39	280	240
合計	646	675	351	182	997	857

## 2 6 配食サービス事業(市受託事業)

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
5,325,652円	5,607,168円	△281,516円

### [目的]

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯へ昼食の配達と配達時の安否確認を行い、在宅生活を支援します。

### [主な事業内容・実績]

週5回、昼食の配達を行うとともに、安否確認を実施しました。

○月曜日から金曜日まで（祝日、12月29日～翌年1月3日を除く）
○利用者本人の負担は食事代実費（500円～530円）

### 利用実績

事業所	実利用者数(人)		延配食数(食)	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
田原	26	28	3,317	4,104
赤羽根	5	7	634	738
渥美	27	28	2,779	2,451
合計	58	63	6,730	7,293

## 2 7 高齢者介護予防事業(市受託事業)

令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
1,637,372円	1,577,546円	59,826円

### [目的]

在宅で生活している高齢者の方が、できる限り要支援状態や要介護状態にならないように、生きがいや健康づくり活動などの介護予防事業を実施し、地域で自立した生活が確保できるように支援します。

### [主な事業内容・実績]

○閉じこもり予防教室 市民館等の12会場で毎月1回開催
-----------------------------

### 閉じこもり予防教室

病気や加齢又は環境の変化等による身体・精神機能の低下により、閉じこもり傾向の強い高齢者を主な対象者として、健康の維持・回復、認知症や寝たきりの予防を目的に「閉じこもり予防教室」を田原市内9校区の12会場で開催しました。

会場	開催回数(回)		実参加者数(人)		延参加者数(人)	
	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度
野田市民館	12	12	11	12	52	89
高松市民館	12	11	5	11	59	64
赤羽根市民館	12	11	5	6	51	50
赤西公民館	12	12	3	5	32	34

若戸市民館	12	11	12	12	95	110
池尻集会場	11	12	10	8	63	29
泉市民館	12	12	4	3	36	32
和地市民館	12	12	9	13	76	78
堀切市民館	12	11	10	11	93	66
福江市民館	12	10	8	16	77	87
あつみライフランド	12	12	7	8	50	68
清田市民館	11	11	9	4	37	37
合計	142	137	93	109	721	744

## ◎施設・指定管理

### 28 田原福祉センター及び赤羽根福祉センターの管理運営（市受託事業）

事業名	令和4年度支出決算額	令和3年度支出決算額	比較増減
田原福祉センター 管理運営事業	37,155,080円	32,936,656円	4,218,424円
赤羽根福祉センター 管理運営事業	18,871,000円	14,067,003円	4,803,997円

#### [目的]

田原福祉センター及び赤羽根福祉センターの指定管理者として、利用者層を拡大し、高齢者・障害者等の福祉の向上、健康増進及び地域福祉の推進を図ります。

#### [主な事業内容・実績]

- 施設の適切な管理運営を行うとともに、地域福祉の推進を目的とした各種事業の実施を通じて市民が親しみやすい施設運営を行いました。
- サロン・ボランティアグループの活動の場としての定着化や季節のイベントの開催など、施設の有効活用及び利用促進を図りました。

決算額は前年度と比較して、各福祉センターともに電気料金の高騰に伴い増額となりました。

#### (1) 福祉センター利用状況（延べ利用者数）

区分	田原福祉センター(人)		赤羽根福祉センター(人)	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
一般利用	10,004	12,475	-	-
会議室利用	31,788	24,565	2,919	3,442
健診等	3,286	2,929	0	0
その他※1	8,389	9,779	2,930	3,333
合計	53,467	49,748	5,849	6,775

※各センターのその他欄は、以下ア、イの実績を掲載

- ア 田原福祉センター
  - 「田原市社協就労移行支援事業所利用者数」1,111人
  - 「豊川保健所田原保健分室利用者数」3,804人
  - 「田原市地域職業相談室（ハローワーク）」3,474人
- イ 赤羽根福祉センター
  - 「生活介護事業利用者数」2,598人
  - 「日中一時支援事業所利用者数」332人

(2) 田原福祉センターに設置されている事務所機能

田原福祉センターは、老人福祉センター機能を有するとともに市民の健康診断や予防接種などを行う場所として市民に親しまれています。

また、ボランティアグループや各種の福祉関係団体の自主的な活動を応援するため会議室の土曜日、日曜日及び夜間使用も予約制で利用可能とし、市民活動の拠点として活用されています。

- ア 社会福祉法人田原市社会福祉協議会
  - (ア) 各種団体の事務局を担当 { P 4 (5) 各種団体支援助成 参照 }
  - (イ) 田原市成年後見センター
  - (ウ) ボランティアセンター
  - (エ) ふれあい相談センター（結婚相談）
  - (オ) 多機能型事業所田原市社協（就労移行）
- イ 豊川保健所田原保健分室
- ウ 公益社団法人 田原市シルバー人材センター
- エ 田原市障害者総合相談センター
- オ 母子寡婦福祉会（喫茶及び売店）
- カ 田原市地域職業相談室（ハローワーク）

(3) 赤羽根福祉センターに設置されている事務所機能紹介

- ア 社会福祉法人田原市社会福祉協議会
  - (ア) 田原市社協あかばねケアプランセンター
  - (イ) 田原市社協ヘルパーステーション
  - (ウ) 田原市社会福祉協議会高齢者支援センター
  - (エ) 田原市社協生活介護事業所なのはな
  - (オ) 田原市社協日中一時支援事業所
- イ 赤羽根デイサービスセンター(福寿園)

## ◎事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告の附属明細書については、記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものがないため、作成を省略します。